

横浜国大Aチームが総合1位

ソイルストラクチャーコンテスト

地盤工学会関東支部は26日、第11回「ソイルストラクチャーコンテスト」を日

葉県船橋市)で開いた。学生や社会人でつくる11チームが参加し、大きな地震でも沈下量を低く抑えられる

地盤の液状化防止技術を競った。審査の結果、横浜国立大学Aチームが総合1位となった。

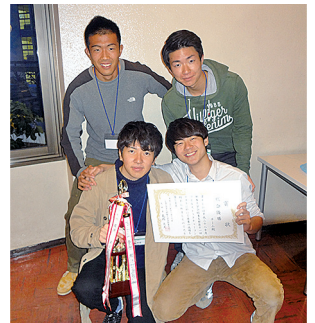
参加したのは、▽横浜国立大学A▽応用地質・基礎地盤・不動テトラ連合▽日

模型地盤への加振審査



ム工学科▽横浜国立大学B▽三信建設工業技術本部▽東京大学土質/地盤研究室▽東京都市大学▽兼松サステック▽不動テトラ▽東京電機大学▽日本大学理工学部土木工学科の11チーム。

総合1位の横浜国大Aチーム



参加者は、100円ショップで購入した材料(自由材料2種類、事務局指定1種類)を使用して模型地盤に液状化対策を実施。審査は、振動台を使用した地盤の沈下量調査の結果と、参加者による技術のプレゼンテーションで行われた。

総合得点が最も高かった横浜国大Aチームの山野井

悠翔さん(3年)は、「事前に実験したり悩んだりした時間が無駄にならずよかった」、寺本諒さん(同)は「施工が難しかったので、事前にしっかり準備をした」、佐伯拓哉さん(同)は「優勝できると思っていたいかなかったので驚いている」、滝澤伊織さん(同)は「今回のコンテストを契機に液状化対策への興味が湧き、理解も深まった」とそれぞれ語った。

